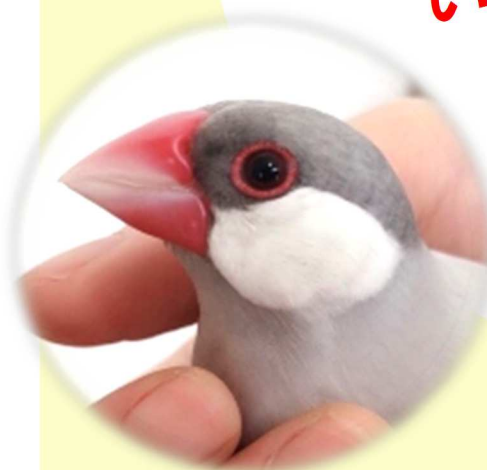


ペット防災手帳



災害から
大切な家族の
いのちを守るために



蒲 郡 市

飼い主の情報・連絡先

住所：〒443-

蒲郡市

連絡先
①

氏名：

電話番号：

携帯電話：

メールアドレス：

連絡先
②

氏名：

電話番号：

携帯電話：

メールアドレス：

かかりつけの動物病院

病院名：

電話連絡：

所在地：蒲郡市内・その他（

）

どうこう ペットの「同行避難」について

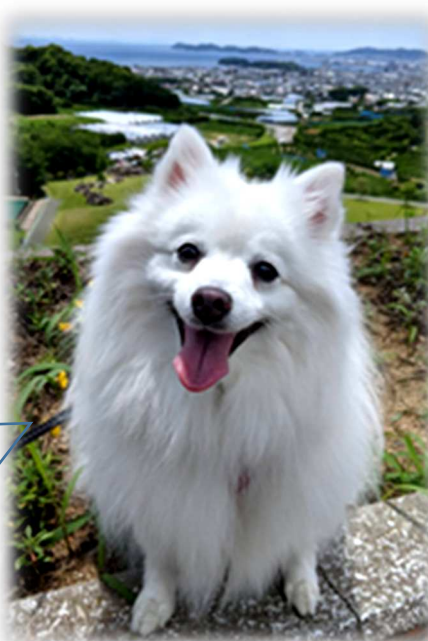
同行避難：災害の時に、危険を避けて一時的に逃げ込む安全な場所（公園や校庭など）や、生活の場となる避難所まで飼い主がペットと一緒に避難することです。

家族と離ればなれになったペットが生きていくのはとても難しいことです。可能な限り一緒に避難してください。

避難所の中でペットと同じスペースで同居することではありません。

大災害発生から日にちが経過し、避難所での生活が落ち着いた頃にペットと一緒に暮らせるスペースが用意できる場合がありますが、しばらくは人とペットは別々に生活することになります。

避難所で飼い主とペットが安心して過ごせるよう、災害に対して今から備えておいてください。



ペットの情報

なまえ：	性別：男の子・女の子				
ペットの種類：	犬・猫・その他（ ）				
犬種・猫種など：	平成 / 令和	年生まれ			
身体の色：	体重：	kg ぐらい			
目の色：	不妊去勢手術：した・していない				
マイクロチップ：No.	登録番号(犬の場合)：				
ノミやダニ、身体の中の寄生虫の駆虫：している・していない					
ほかの子に伝染する病気：ない・ある（ ）					
治療中の病気やケガ：ない・ある（ ）					
必要なお薬：ない・ある（ ）					
アレルギー：ない・ある（ ）					
狂犬病予防接種 年・月	年	月	混合ワクチン 予防接種 年・月	年	月
	年	月		年	月
	年	月		年	月
	年	月		年	月

ペットと飼い主と一緒に写っている写真や、ペットの全身写真をここに貼り付けてください。

身体の色や大きさ、しっぽの長さなど全身の特徴が分かる写真は、迷子になった時に探す手がかりになります。

携帯電話などにペットの画像があると、発見されたときに飼い主の証明になりますので必ず保存を！

事前に迷子のチラシを作成してデータをスマホに入れておくのも良いですね。（いざという時にすぐ使えます）



ペットの性格や身体の特徴、対応するときの注意点：（例）足先を触られると嫌がります など

ペットを守るため、災害について知っておきましょう

地震・津波	蒲郡市が南海トラフ地震などで受ける被害予想は、 最大震度 7（理論上最大モデル） 津波到達時間 55分後（理論上最大モデル） 最大津波高 5.0メートル（理論上最大モデル） と言われています。
高 潮	台風や低気圧の影響で海面が上昇し、陸地に流れてくることです。 特に、高潮が満潮の時間と重なると家に水が入ってきたり、道路が水没したりするなどの被害が発生することがあります。
洪 水	台風や豪雨などで増えた川の水が外にあふれ出すことです。 蒲郡市内では次の4河川の浸水予想図が愛知県から発表されています。 紫川、西田川（力川）、落合川、拾石川
土砂災害	がけに面した土地や山間部では、大雨や地震により斜面の土砂崩れ、地すべり、土石流などが発生する恐れがあります。
台 風	台風が発生したら、進路や蒲郡市に最も近づく日時を新聞やニュースなどで調べ、家の周りの飛びそうな物を片付けておいてください。 犬や猫など、屋外にいるペットは必ず家の中に入れておきましょう！

自宅周辺の災害リスクをインターネットで調べましょう

ハザードマップ	蒲郡市のハザードマップは市役所玄関案内と市民課、危機管理課で配布しています。インターネットで「蒲郡市ハザードマップ」と検索するとデータで閲覧できます。（下記4種類あります） 南海トラフ地震の震度分布、津波、洪水・土砂災害、高潮
マップあいち	土砂災害危険区域（急傾斜地）、高潮浸水区域、道路冠水想定箇所など、自宅周辺のデータが閲覧できます。
愛知県防災学習システム	地震で発生する危険箇所のデータ（震度、液状化危険度、津波到達時間、津波の高さ、浸水深）などが閲覧できます。
国土地理院ホームページ	トップページにある「地理院地図を見る」をクリックすると自宅の標高が調べられます。
気象庁ホームページ 「キキクル(危険度分布)」	豪雨や台風の時、自宅近くの雨雲の動きや、土砂災害や洪水などの危険度の高まりを調べることができます。 地震や台風など、過去の災害データを調べるのに最適です。



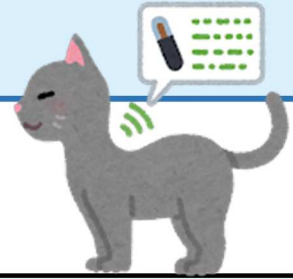
災害時は「蒲郡市安心ひろめーる」で 避難情報などをメール配信します

左の QR コードから空メール送信、または蒲郡市ホームページから登録できます。

「気象情報」、「緊急・重要情報（広報の屋外放送内容）」ぜひご登録を！

日ごろの備え

避難所生活は、ペットにとって安心できるものではありません。災害が起きてでも自宅で過ごせるよう、食料や生活必需品の備蓄、自宅の災害対策など日ごろから備えておく必要があります。



1 迷子対策

迷子札、マイクロチップ、鑑札、狂犬病予防注射済票等を普段から身に着け、身元が分かるようにしておきましょう。

マイクロチップは、飼い主の情報を記録した小さなチップを注射器で体内に入れるものです。過去の大災害の時は放浪中に首輪や迷子札が外れてしまった子でも、マイクロチップの情報を元に無事に帰宅できたケースが数多くありました。

チップについては、かかりつけの動物病院にご相談ください。



マイクロチップ
画像：日本獣医師会

2 感染症やノミ・ダニなどの予防

安心して避難生活を送ることができるよう、混合ワクチン等の各種ワクチン接種、狂犬病予防注射、ノミ・ダニや寄生虫の駆虫を日ごろから欠かさずに行っておきましょう。

3 基本のしつけ

① 犬には「待て」「おいで」などを教える。

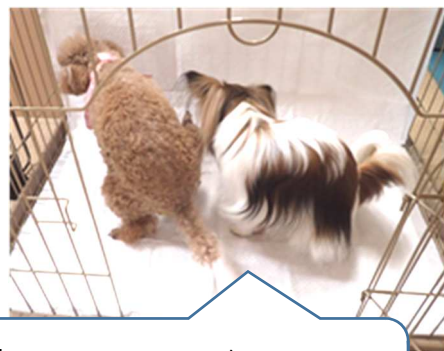
※ 家の外や、オヤツなしでもできるように訓練しておきましょうね！

② ケージやキャリーバッグに日ごろから慣らして、安心できる居場所と考えるようにしておく。(犬・猫ともに)



周りが囲われると
落ち着くよね(*^ω^*)

③ 決められた場所で排泄できるように習慣づけておく。(犬・猫ともに)



「ワンツー、ワンツー♪」の
掛け声と一緒に おトイレしています

④ 知らない人や動物を怖がらないよう、家族以外の人や犬、音などに慣らしておく。

4 ペットフードなどの備蓄、持出袋を用意しておく

大災害が起きると物流が混乱し、ペットフードや薬などの入手が困難になります。
避難所にはペット用品の備蓄はありません。普段から災害を意識して、フードや薬は最低でも5日分以上、余裕をもってストックしておきましょう。

※ 健康維持に必要な薬や療法食はしっかりストックしておいてください！

〔持出品リスト〕

優先順位1	□ 5日分以上のフード、水、食器 □ 必要な薬 □ 予備の首輪・リード（伸びるリードは×） □ トイレ用品（トイレシート、猫砂を10日分） □ 衛生用品（ポリ袋、ウェットティッシュなど） □ ペット防災手帳（連絡先など記入済で） □ ガムテープ、ポリロープ
優先順位2	□ ケージ、クレート、キャリーケースなど □ カラビナやクリップ □ 乾電池式の扇風機と乾電池 □ 使い捨てカイロ、冷却グッズ □ お気に入りの毛布、おもちゃ □ 古新聞、ビニールシート □ タッパー、食品用ラップ □ トイレットペーパー、タオル

優先順位1のペットの持出品だけでも意外と重くなります。災害時はこれに加えて人間用の食料や水などを持ち、ペットを連れて歩きます。できる限り軽くしましょう！食器やケージなどは後回しになっても何とかできます！



カラビナはいろいろ使えてとても役立ちます

優先順位2の持出品は、持っている飼い主さんの避難生活にも役立ちます！

5 家具を固定し、窓ガラスには飛散防止フィルムを貼る

倒れてくる家具の下敷きにならないよう、タンスやテレビなどは固定しましょう。ペットがいつもいる部屋には、安全な逃げ込みスペースを作っておくと安心です。

※ 65歳以上の人、身体障害者手帳をお持ちの方、要介護・要支援の認定を受けている人のみで構成された世帯には、家具固定器具の取付け補助が受けられます。くわしくは 危機管理課（電話：66-1208）までお問い合わせください。

6 危険なブロック塀などからペットを遠ざける

ペットを外飼いしている場合、ブロック塀などが倒れたときに巻き込まれないようつなぐ場所に気を付けてください。ガラス窓の下も危険ですね。

※ 高さ60cm以上のブロック塀で、道路や公共施設に面し、地震で倒れるおそれがある場合は取壊し工事に最高10万円の補助が受けられます。（一敷地1回限り）くわしくは 危機管理課（電話：66-1208）までお問い合わせください。

！！災害が発生したときは！！ ※大災害の場合

まずは飼い主が全力でご自分の身を守ってください。ペットの安全も飼い主が無事であってのことです。揺れが収まったら建物の外に出て、広い場所で周りの安全を確認してください。災害がどんな状況で発生しても対応できるよう、避難方法をいくつか考えておきましょう。

◆ 避難先は、体育館などの避難所だけではありません ◆

自宅の被災状況などから、自分たちに合う避難生活を選びましょう

① 自宅での避難生活 … 避難所に「在宅避難の届出」を出してください。

電気やガス、水道が止まっても、自宅の被害が少なければ避難所生活をする必要はありません。「在宅避難の届出」を出すと避難所で食料等を受け取ることができます。

※ 余震が続くなど、二次災害の危険性が考えられる場合は迷わず避難所へ！

② 避難所での避難生活 … 飼い主とペットは生活するスペースが分かります

避難所では人間の生活が優先されます。避難所のルールやマナーを守り、決められた場所でお世話をしてください。ペットの飼い主同士の交流、情報交換をお勧めします。

③ 車の中、屋外テントでの避難生活

避難所になっている学校の駐車場などで、自分の車やテントでペットと一緒に過ごします。プライバシーが保たれますが、熱中症やエコノミークラス症候群に注意が必要です。

④ 親戚・知人や施設に預ける

被害が少なかった親せき・知人の家やペットホテル、動物病院にペットを預けます。

避難所でのペット飼養 ※大災害の場合

1 家から避難所まで、ペットと一緒に避難する

- ・道路に落ちているガラスやがれきなど、尖ったもので肉球を傷つけないよう足元に注意を。
- ・背負えるタイプのキャリーケースは、両手が自由に使えるので安全に歩けるので便利です。
- ・高い建物、海や川に近い道、高い塀のある道を避けて、周りに注意しながら歩いてください。
- ・災害時は道路が渋滞して車で進めないことがあります。車以外の手段で避難を考えて！
- ・小さな避難所は部屋が少ないためペットスペースが作れず、ペットの受入が難しい場合があります。ペットを連れて避難するときは自宅近くの学校をお勧めします。

2 避難所でペット登録台帳に登録 ⇒ ペットスペースへ

- ・ペットスペースは避難所の別室や屋外など、人の滞在スペースから離れた場所になります。
- ※ 災害が発生してすぐの避難所は混乱して、人間の受入対応に追われています。
支援も人間優先になりますので、ペットのいのちは飼い主が守ってあげましょう！

3 ペットの飼い主が分かるようにしておきましょう

- ・迷子札などを着けて、必ずペットの飼い主が分かるようにしておきましょう。
- ・首輪やリードがないときは、避難所にあるロープなどを使って自作してください。
ロープなどで作った首輪に布製ガムテープなどを巻くと、油性ペンで名前が書けます。

4 お世話は飼い主同士で協力する

- ・避難所運営は、地域の避難者が自主的に行っています。ペット担当者は、いません。
ペットのお世話は、避難所のルールに従って飼い主が責任を持って行ってください。
- ・飼い主同士で協力し合い、トラブルは避難所運営のスタッフと一緒に解決していきましょう。
「飼い主の会」を立ち上げて、より良い飼育環境づくりにご協力ください。
- ・飼育場所、散歩場所、トイレなどは必ず決められた場所のみで行い、衛生を保ってください。
フンは必ず回収し、尿には水をかけて臭いを抑えてください。
- ・ペットのストレス鳴きを防ぐため、適度な散歩やスキンシップでストレス解消を。
- ※ ひとりの力には限界があります。他の飼い主たちとみんなで協力しながら衛生的に
お世話をして、ペットを飼っていない人たちとの関係を良好なものにしましょう。

持っている飼い主にもペットにも役に立つもの

- 暑さ対策 ◇叩くと冷える瞬間冷却剤 ◇濡らすと冷える冷感タオル ◇乾電池式扇風機と予備の乾電池
- 寒さ対策 ◇使い捨てカイロ ◇段ボール・板状の発泡スチロール・新聞紙 ◇フリースひざ掛け
- その他 ◇トイレシート(人のトイレやオムツとして使えます) ◇はさみ、カッター ◇ガムテープ、ポリロープ

ペットが迷子になったときのお問い合わせ先

蒲都市環境清掃課 電話:57-4100 蒲郡警察署 電話:68-0110

愛知県動物愛護センター東三河支所 電話:0532-33-3777

※犬が人を咬んでしまったときは、すぐに動物愛護センターに連絡してください！

平常時のお問い合わせ先

防災・減災に関するお問合せ	蒲都市危機管理課	電話:66-1208 FAX:66-1190
犬の登録などに関するお問合せ	蒲都市環境清掃課	電話:57-4100 FAX:57-3924